

令和7年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立東調布第三小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・たくさんの情報を必要とする裁縫や調理などの学習では、大型テレビやICT、ワークシートなどを適宜使い分け、多くの情報を効率的に整理し、まとめて提示することで、安心して授業に参加できる児童が増えた。

(2) 課題

- ・自分自身や家庭生活に目を向け、自分の生活とのつながりを考えながら、自分にとっての課題を受け止めている児童が少ない。
- ・学習したことが、自分の生活にどのように役立てられるかを考えたり、家庭生活中で実践したりする児童が少ない。

2 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・具体的な体験活動を通して、「ひと」「もの」「こと」との関わり方を実感的に学ばせ、技能スキル伸ばせるよう指導する。 ・裁縫や調理などの実技を伴う学習課題では、作業手順が分かるように、実物教材やICTを活用し、視覚的に理解しやすくする。 ・基礎、基本の技能が定着するように、振り返る時間を確保し、繰り返し指導を行う。	・ポートフォリオを活用し学習の振り返り、実習における計画立案など、どんな気づきを得て、何を学んだのかを考えさせる。 ・適宜、話し合い活動を取り入れ、対話からそう考える理由や根拠を検討し、新たな見方や展望をもてるように指導していく。	・児童が「自分ごと」として課題を追求することができるような学習課題を設定し、児童の問いや思いをつなげられるように指導する。 ・技能、知識の広がりへとつなげるために、実験等の実感を伴う、体験的活動を取り入れる。 ・学習したことを家庭生活中に生かすことができるように、家庭に発信する。

3 重要指導事項

- 具体的な体験活動を通して、「ひと」「もの」「こと」との関わり方を実感的に学ばせ、技能スキルを伸ばす。（知識・技能）
- 題材全体の見通しをもたせるとともに、児童が何を感じ、どんな気づきを得て何を学んだのかを考えさせる。（思考・判断・表現）
- 学習課題に沿った学習場面を設定し、技能、知識の広がりへとつなげるために、体験的活動を取り入れたり、学んだことを生かすために家庭と連携して家庭実践につなげたりする。
(主体的に学習に取り組む態度)